

●企画の経緯・・・葉画家 群馬直美

葉っぱの絵を描いて34年になります。

葉画家（ようがが）を名乗る私の人生を決めたのは、他でもない「街路樹」の葉っぱの輝きでした。街路樹の新緑の美しさ、生命力に深く癒された経験から、葉っぱを描くようになったのです。そしてまた、葉画家人生に迷ったとき、進むべき道を指し示してくれたのも「街路樹」でした。私は、人生で二度「街路樹」に救われたと言ってもいいのです。街路樹の葉っぱ、身近な葉っぱを原寸大で克明に描きながら、

「この世に二つとして同じ葉っぱなどない、一枚一枚に掛け替えのない命が宿っている。それは、私たち人間も同様のこと。一枚一枚、一人一人が重要なんだ」と、葉っぱたちから教えられてきました。



2015年2月7日。くにたちさくら通りの街路樹伐採を巡る国立市と市民の意見交換会に出席した私は、「日本の街路樹の多くは昭和30～40年代に植えられたもので、全国津々浦々、各市町村で街路樹にまつわる様々な問題が起きている」と知りました。

—40～50年かけて街の景観を形作ってきた街路樹が、全国で一斉に切り倒され若い小さな街路樹に植え替えられる。そしてまた、40～50年経ったら同様に……。

この繰り返しでいいのだろうか？ と思いました。



二度も「街路樹」に救われた私に何かできることはないだろうか。

そうだ、毎年開催していただいている国営昭和記念公園花みどり文化センターでの個展にあわせて「街路樹サミット」をやろう、そして街路樹のことをみんなにもっと知ってもらおうと思い立ち、秋田県能代市の庭師・福岡徹氏に会いに行きました。



「どうして街の木には腕がないの？」— 枝をばっさり切られた街路樹を見た子供の問いかけから、福岡さんは、市や県や造園業者に働きかけ、3年の活動を経て市県の街路樹を自然樹形の剪定へと促した人です。その過程で心が折れそうになったとき支えとなったのが、秋田市街の書店で偶然手にした群馬直美の画文集『街路樹 葉っぱの詩』（世界文化社）だったのです。「街路樹サミット」の開催は、福岡さんの長年の夢でもありました。



福岡徹氏、他大勢の方々のお力をお借りして、今回、『2016街路樹サミットin立川』へと至りました。

群馬直美展『街路樹 葉っぱの詩』

2015年12月12日（土）～2016年1月24日（日）

国営昭和記念公園花みどり文化センター、ギャラリー1・2・3

群馬直美（ぐんま・なおみ）●葉画家（ようがが）1982年東京造形大学絵画科を卒業。大学在学中に、街路樹の新緑の美しさ、生命力に深く癒された経験から“葉っぱ”をテーマとする創作活動に入る。自然からのメッセージを汲み取りつつ、葉っぱ1枚1枚をありのまま丹念に描き上げた作品には定評があり、多くのファンを持つ。著書に『街路樹 葉っぱの詩』『木の葉と木の葉の美術館』（世界文化社）『言の葉 葉っぱ暦』（けやき出版）他。

●趣旨

昭和30～40年代、日本全国で一斉に植えられた街路樹が、今、私たち人間社会と同じように高齢化問題に直面しています。

1867年（慶応3年）、開港場・横浜の馬車道に美しい景観づくりのため、各商店により植えられた柳と松。—以降続くおよそ150年の近代街路樹の歩みを踏まえ、都市における緑の文化「街路樹」が、美しく生き生きするためには何が必要なのかを話し合います。全国には、街なかでありながら樹齢300～400年の街路樹も現存しています。

そんな事例紹介もしながら、これからの街路樹について前向きに考えていきます。ふるさとの、日本の、世界の街路樹を良くしたいと思っている人、街路樹を愛する人、街路樹に興味も関心もない人、造園業者も行政も、すべての人たちが木の立場に立って考え話し合います。木の心で考え話すと、きっと私たち人間が何をしたらいいのか見えてくるような気がします。1本の木も、1人の人間も掛け替えのない命の持ち主です。

「緑の文化」発信拠点・国営昭和記念公園に、街路樹を愛する人たちが全国から集い、最初の一步を踏み出します。

●プログラム

12:30—13:45

1. 開催主旨 挨拶

群馬 直美 東京都立川市在住 ●葉画家

2. 基調講演

(1) 福岡 徹 「街路樹が教えてくれたこと」 秋田県能代市在住 ●福岡造園 代表作庭者

(2) 西野 哲造 「街路樹を考える」 東京都江戸川区在住 ●公益財団法人 えどがわ環境財団

(休憩)

14:00—15:30

3. パネルディスカッション「いのちの尊厳」

〈司会進行〉

豊蔵 均 千葉県千葉市在住 ●(株)創庭社 代表/隔月刊誌『庭』前編集長

〈パネラー〉

(50音順)

石川 忠義 埼玉県久喜市在住 ●県会議員/元久喜市議会議員

大武美緒子 埼玉県さいたま市在住 ●フリー編集者・ライター

河合 耕一 富山県南砺市在住 ●(有)新樹造園 代表

西野 哲造 (基調講演者)

福岡 徹 (基調講演者)

※プロフィールは裏面をご覧ください。

15:30—16:00

4. 質疑応答コーナー